

平成 27 年度全国学力・学習状況調査結果（概要）について

浜田市教育委員会

平成 27 年度全国学力・学習状況調査結果の概要についてお知らせします。

今回の調査で測れるのは学力の一部であり、このことを踏まえて、単に数値のみで序列化された過度の競争につながることはないよう留意をお願いします。

1 調査の概要

(1) 調査実施日 平成 27 年 4 月 21 日（火）

(2) 調査の対象

国・公・私立学校小学校 6 年生（特別支援学校含む） 全児童

国・公・私立学校中学校 3 年生（特別支援学校含む） 全生徒

*特別支援学校及び小中学校の特別支援学級在籍者のうち、下学年の内容などに代替して指導を受けている児童生徒や特別支援学校の教科の内容の指導を受けている知的障がい者である児童生徒は、調査対象としない。

(3) 浜田市での調査対象児童・生徒数 ・小学校 444 名 ・中学校 436 名

(4) 調査の内容

- ① 教科に関する調査
 - ・国語 A（知識） ・国語 B（活用）
 - ・算数・数学 A（知識） ・算数・数学 B（活用）
 - ・理科（知識・活用）
- ② 質問紙調査
 - ・児童生徒に対する調査
 - ・学校に対する調査

2 各教科の平均正答率

(1) 小 学 校

	平均正答率（％）					
	浜田市	島根県	全国	差(市一県)	差(市一國)	差(県一國)
国語 A	66.7	69.3	70.0	-2.6	-3.3	-0.7
国語 B	61.0	63.8	65.4	-2.8	-4.4	-1.6
算数 A	70.2	72.4	75.2	-2.2	-5.0	-2.8
算数 B	38.4	42.2	45.0	-3.8	-6.6	-2.8
理 科	55.7	59.8	60.8	-4.1	-5.1	-1.0

(2) 中 学 校

	平均正答率（％）					
	浜田市	島根県	全国	差(市一県)	差(市一國)	差(県一國)
国語 A	72.1	75.7	75.8	-3.6	-3.7	-0.1
国語 B	62.6	65.6	65.8	-3.0	-3.2	-0.2
数学 A	55.9	62.7	64.4	-6.8	-8.5	-1.7
数学 B	34.2	39.6	41.6	-5.4	-7.4	-2.0
理 科	49.8	53.1	53.0	-3.3	-3.2	0.1

3 島根県の結果

中学校理科においては、全国平均を上回ったものの、他については下回った。小学校6年算数及び中学校3年数学は、全国平均を1.7p～2.8pの範囲で下回り、昨年度(0.7p～1.8p)よりその差が広がった。

4 浜田市の結果

(1) 教科に関する結果の概要について

○小学校6年、中学校3年ともに国語A、B、算数・数学A、B、理科の全教科において平均正答率が全国平均を下回った。小学校では、3.3p～6.6p、中学校では3.2p～8.5pの範囲で下回り、昨年度(小学校0.5p～5.2p、中学校1.2p～3.6p)よりその差が広がった。中学校3年は、3年前の小学校6年生時(抽出校みの実施)の推移をみると、平均正答率の全国平均との差は、6.1p～10.2pから3.2p～8.5pに縮まっている。算数・数学は、小学校6年・中学校3年ともに全国平均との差が大きいこと、中学校3年の数学Aが数学Bより全国との差が大きいことが大きな課題である。

(小学校)

国語では、漢字の読み書きについては全国平均に近いが、内容をまとまりごとに読み取ることや、文章と図やグラフなどを関係付けて、自分の考えをまとめる問題に課題がみられた。算数では、小数の計算については全国平均を上回っているが、図形に関して、二つ以上の条件を組み合わせて考える問題に課題がみられた。理科では、物質・エネルギーや方位に関する問題に課題がみられた。また、児童質問紙から「解答時間が十分でなかった」と回答する児童の割合が、全教科とも全国平均より多かった。

(中学校)

国語では、読むことに関しては全国平均に近いが、漢字の読み書きなどの語いに関する問題や、話すこと・聞くことの具体的な言語活動をとおして、複数の資料から必要な情報を得て自分の考えを書く問題に課題がみられた。数学では、数と式に関する多様な計算問題や関数の式とグラフの関係やそこから値を読み取るなどの基礎的・基本的な知識の確実な習得に課題がみられた。理科では、化学的領域の問題に課題がみられた。

(2) 質問紙の回答状況から

① 概要について

- 「自分によいところがあると思う。」と感じている児童生徒の割合は、小学校でほぼ全国平均であるが、中学校は全国平均を上回っている。
- 保護者や地域関わった教育活動の割合が全国平均を大きく上回っており、地域の人材を活用した教育や地域と密着した教育活動が行われている。
- 学校図書館や地域の図書館を利用する児童生徒の割合が全国平均と比べて高く、学校図書館活用教育の効果があらわれている。
- 普段の家庭学習時間は改善傾向がみられる。1日1時間以上家庭学習をする児童生徒の割合は、小中ともに昨年度より増えており、小学校では全国平均を上回っている。学校においては課題の与え方等について改善が図られているが、中学校は全国平均を大きく下回っており、大きな課題である。

- メディア接触時間も改善傾向がみられる。1日あたり2時間以上TVゲーム等のゲームをする時間は小中ともに全国平均より少ない。1日あたり2時間以上、TVやDVDなどを視聴したり携帯電話やスマートフォンで通話やメール、インターネットをしりする割合は、小学校では全国平均より多く、中学校では全国平均より少ない。
- 国語科、算数・数学科における、「授業の冒頭で目標（ねらい・めあて）を示す活動」や「授業の最後に学習したことを振り返る活動」についての児童生徒の意識は、昨年度より7.6p～20.1pの幅で改善されている。しかし、意識の割合は、全国平均を下回っており、学校がこれらの活動を取り入れていると答えている割合と、児童生徒の認識の割合は昨年度と同様に差が見られたので、一層の工夫改善が求められる。
- 学校質問紙による「総合的な学習において、課題の設定からまとめ、表現に至る探求の過程を意識した指導」の割合が昨年度に比べ、大幅に増えた。しかし、中学校では全国平均を下回っている。また、小中ともに資料の調べ方の指導や資料を使って発表できる指導などの割合が少ないので、情報を活用したり発信したりする指導の充実が求められる。
- 平均正答率の全国との差が大きかった算数・数学では、計算問題などの反復練習をする授業の割合が全国平均より下回っているため、反復練習を授業の中で充実していく必要がある。

② 児童生徒質問紙より *数字は割合(%) ()の数字は全国平均との差

・「自分によいところがあると思う。」

小学校 75.6 (−0.8) 中学校 73.7 (+5.6)

○「昼休みや放課後、学校が休みの日に本（教科書や参考書、漫画や雑誌は除く）を読んだり、借りたりするため、学校図書館・学校図書室や地域の図書館に週1回以上行く。」

小学校 26.6 (+9.0) 中学校 16.9 (+8.7)

▽「普段（月～金曜日）、1日あたり1時間以上家庭学習をしている。（学習塾、家庭教師に教わっている時間も含む）」

小学校 63.9 (+1.0) 中学校 48.6 (−20.4)

・「普段（月～金曜日）、1日あたり2時間以上TVやビデオ、DVDを見たり聞いたりする。（TVゲームをする時間は除く）」

小学校 62.7 (+3.5) 中学校 55.6 (−0.1)

□「普段（月～金曜日）、1日あたり2時間以上TVゲーム（コンピュータゲーム、携帯型のゲーム、携帯電話やスマートフォンを使ったゲームも含む）をする。」

小学校 28.0 (−2.2) 中学校 31.1 (−5.4)

・「普段（月～金曜日）、1日あたり2時間以上携帯電話やスマートフォンで通話やメール、インターネットをする。（ゲームをする時間を除く）」

小学校 10.3 (+0.5) 中学校 23.5 (−7.8)

▽「前の学年までに受けた授業のはじめに、目標（めあて・ねらい）が示されていたと思う。」

小学校 81.9 (−4.4) 中学校 77.2 (−2.5)

▽「前の学年までに受けた授業の最後に、学習内容を振り返る活動をよく行っていたと思う。」

小学校 67.3 (−8.0) 中学校 48.1 (−11.2)

- ③ 学校質問紙より *数字は割合(%) ()の数字は全国平均との差
- 「学校支援地域本部事業などの仕組みにより、保護者や地域の人が学校の活動に参加してくれる。」
 小学校 93.3 (+9.2) 中学校 88.9 (+19.2)
- 「前年度までに、家庭学習の課題の与え方について、校内の教職員で共通理解を図った。」
 小学校 93.3 (+6.2) 中学校 88.9 (+10.4)
- ・「調査対象児童生徒に、前年度までに、総合的な学習において、課題の設定からまとめ、表現に至る探求の過程を意識した指導をした。」
 小学校 86.6 (+5.3) 中学校 66.6 (-12.4)
- ・「調査対象児童生徒に、前年度までに、授業の冒頭で目標(めあて・ねらい)を示す活動を計画的に取り入れた。」
 小学校 93.3 (-4.8) 中学校 100 (+4.3)
- ▽「調査対象児童生徒に、前年度までに、授業の最後に学習したことを振り返る活動を計画的に取り入れた。」
 小学校 80.0 (-13.9) 中学校 77.8 (-13.1)
- ▽「調査対象児童生徒は、話し合い活動で自分の考えを相手にしっかり伝えられる。」
 小学校 53.4 (-18.5) 中学校 44.4 (-24.9)
- ▽「調査対象児童生徒に、前年度までに、本やインターネットなどを使った資料の調べ方が身に付くよう指導した。」
 小学校 80.0 (-10.8) 中学校 66.7 (-11.3)
- ▽「調査対象児童生徒に、前年度までに、資料を使って発表ができるよう指導した。」
 小学校 60.0 (-25.9) 中学校 66.6 (-11.5)
- ▽「調査対象児童生徒に対する算数・数学の指導として、前年度までに、計算問題などの反復練習をする授業を行った」
 小学校 86.7 (-10.7) 中学校 88.9 (-7.4)

5 今後の対応

- (1) 過去のA問題を中心にした意図的・計画的な反復練習による復習、定着指導
 ・各単元の終わりに ・朝学習、校内計算・漢字テストで ・家庭学習で など
- (2) 課題解決的な学習、探求的な学習などをおとした言語活動の充実
 ・学校図書館活用教育の推進
 石見中学校への視察研修(11月4日)
 学校図書館活用教育研究指定校を中心に公開授業及び研修会
 ・調べる学習コンクール
 ・協調学習 広島県大朝ブロック研究発表会への参加(11月20日)
- (3) 学習の基盤づくり
 ・児童生徒支援室による相談・指導
 ・家庭学習ノートコンテストによる学習習慣の定着
 ・適切なメディアへの関わりをはじめとした生活習慣づくり
- (4) 県教委との連携による授業力向上
 ・算数指導にかかる全小学校への指導主事訪問指導